
2018年度 第1四半期

決算説明資料



2018年 8月10日

2018年度 第1四半期業績

- 業績概要…………… 4
- セグメント別売上高…………… 5
- セグメント別経常利益…………… 6
- 各セグメントの売上高・経常利益…………… 7
- 貸借対照表…………… 14

補足資料

- 2018年度 セグメント別 売上高・経常利益（予想） …… 16
- 産業ガスならびにエネルギー関連の製品別売上高…………… 17
- 主要グループ会社 売上高 …… 18

注 記 事 項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2018年度 第1四半期業績

2018年度 第1四半期 業績概要



(単位：億円)

	2017.1Q	2018.1Q	増減	
			金額	前年同期比
売上高	1,779	1,858	+79	104.4%
営業利益	80	83	+3	103.6%
(営業外損益)	5	11	+6	220.6%
経常利益	85	94	+9	110.4%
(特別損益)	▲1	▲2	▲1	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	48	57	+9	118.2%
経常利益率	4.8 %	5.1 %		
ROE	1.9 %	2.0 %		
EPS	24.72円	29.17円		

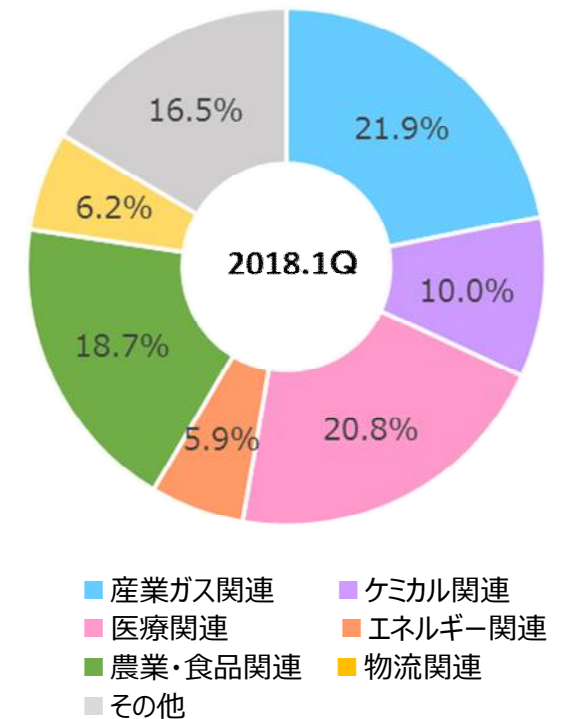
2018年度 第1四半期 セグメント別売上高

(単位：億円)



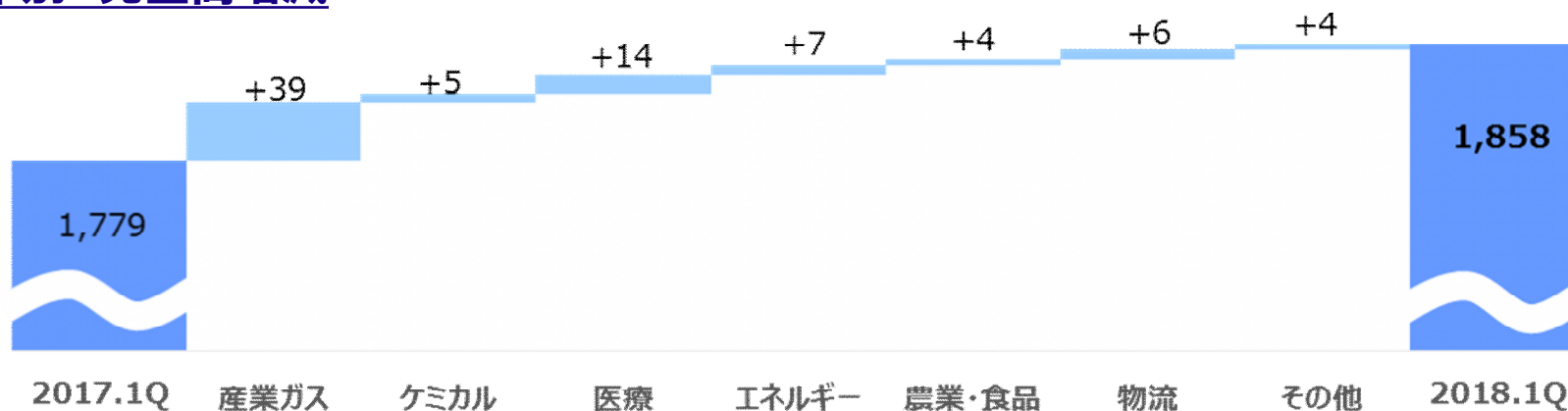
	2017.1Q	2018.1Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	368	407	+39	110.7%
ケミカル関連	181	186	+5	103.0%
医療関連	372	386	+14	103.7%
エネルギー関連	102	109	+7	106.5%
農業・食品関連	344	348	+4	101.1%
物流関連	109	115	+6	105.5%
その他	303	307	+4	101.2%
合計	1,779	1,858	+79	104.4%

セグメント別 売上高構成比



セグメント別 売上高増減

(単位：億円)



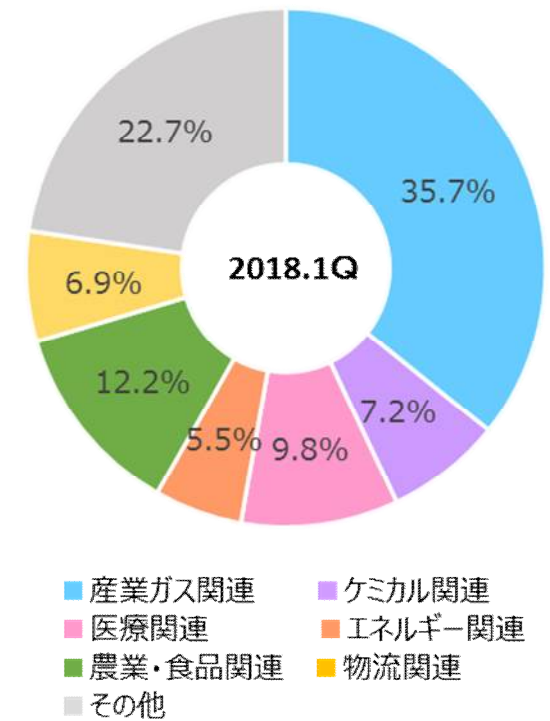
2018年度 第1四半期 セグメント別経常利益

(単位：億円)



	2017.1Q	2018.1Q	増減	
			金額	前年同期比
産業ガス関連	29	34	+5	115.6%
ケミカル関連	2	7	+5	416.3%
医療関連	10	9	▲0	96.1%
エネルギー関連	7	5	▲2	71.3%
農業・食品関連	13	11	▲2	87.6%
物流関連	5	6	+1	127.4%
その他	19	21	+2	109.5%
調整額	0	0	▲0	98.7%
合計	85	94	+9	110.4%

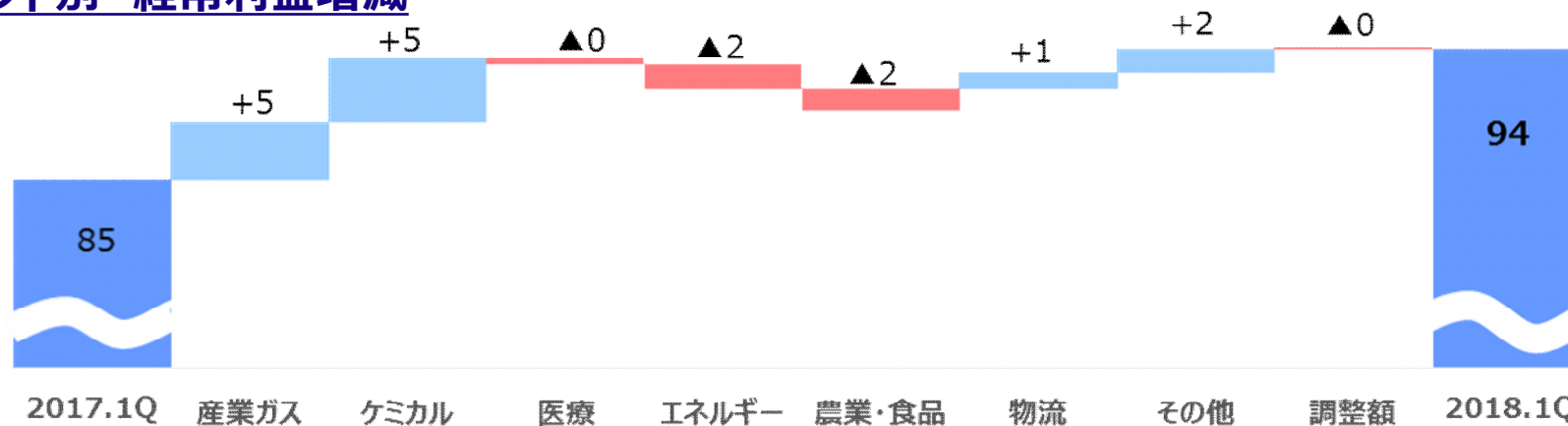
セグメント別 経常利益構成比



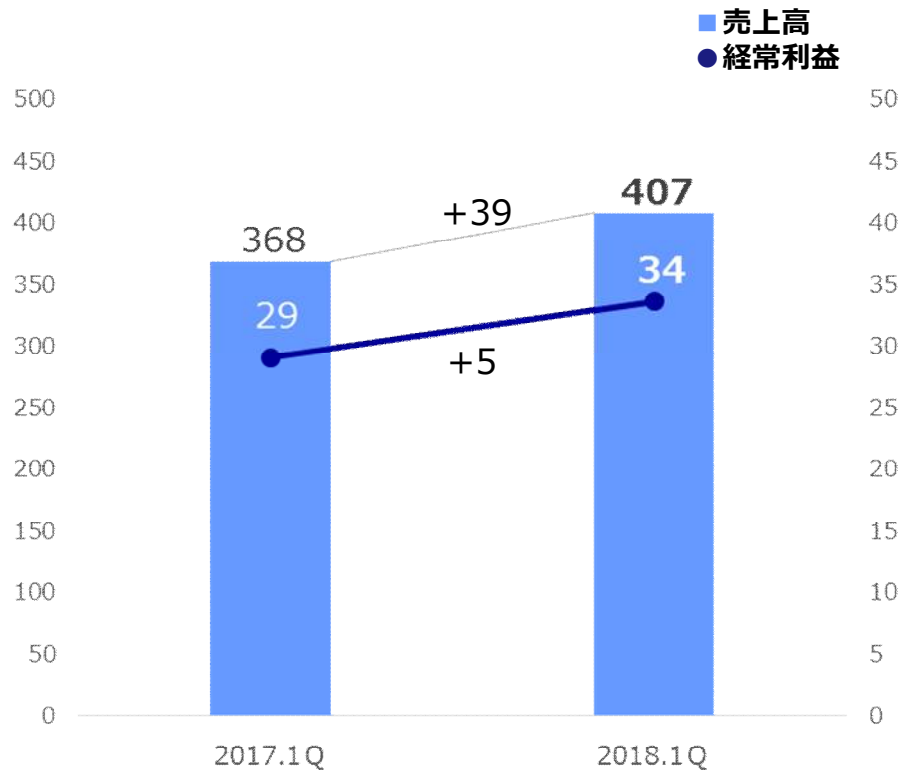
* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

セグメント別 経常利益増減

(単位：億円)



産業ガス関連事業



■ 売上高 407億円（前年同期比110.7%）

- ・ローリーおよびシリンダー供給によるガス販売が増加
- ・顧客工場の操業度が回復し、高炉向けオンサイトガス供給が増加
- ・日本パイオニクスの新規連結
- ・ガスアプリケーション機器・低温機器の販売が増加

■ 経常利益 34億円（前年同期比115.6%）

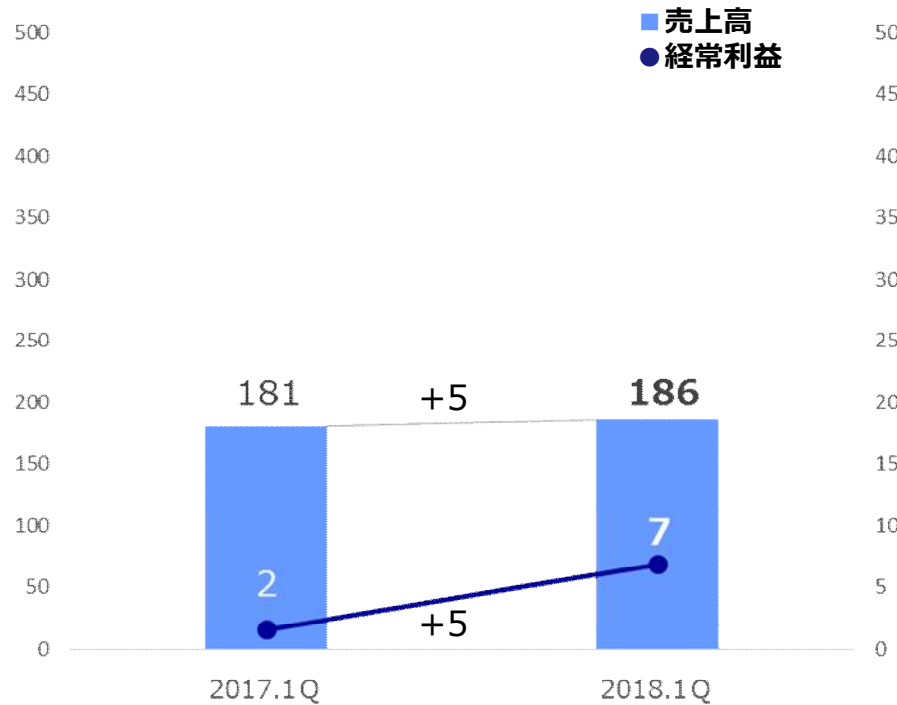
- ・ローリーおよびシリンダー供給によるガス販売が増加
- ・顧客工場の操業度が回復し、高炉向けオンサイトガス供給が増加
- ・日本パイオニクスの新規連結

■ サブセグメント別 売上高

（単位：億円）

	2017.1Q	2018.1Q	増減	前年同期比
ガス	280	296	+16	105.6%
機器・工事	87	111	+24	127.2%
計	368	407	+39	110.7%

ケミカル関連事業



■ 売上高 186億円（前年同期比103.0%）

- ・コークス炉精製ガスの単価および粗ベンゼンの販売価格が上昇
- ・川崎化成工業において無水フタル酸など有機酸製品の価格改定を実施
- ・ファインケミカルは、中国の生産工場において環境規制強化の影響を受け、減産

■ 経常利益 7億円（前年同期比416.3%）

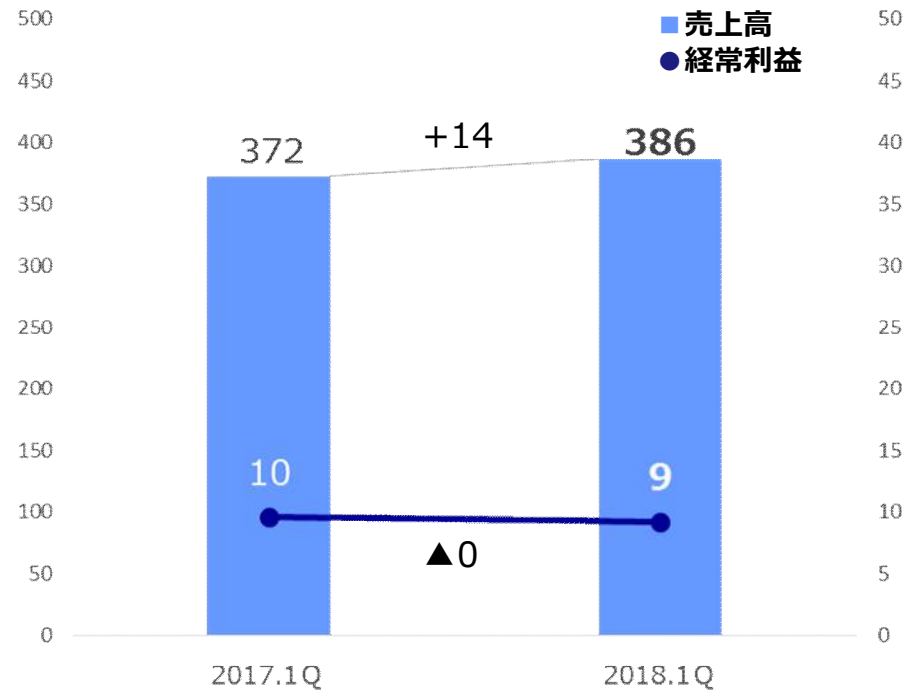
- ・市況変動により、粗ベンゼンの収益改善が進展
- ・川崎化成工業において無水フタル酸など有機酸製品のスプレッドが拡大
- ・前年同期において計上したシーケムの持分損失が解消

■ サブセグメント別 売上高

（単位：億円）

	2017.1Q	2018.1Q	増減	前年同期比
コ ー ル ケ ミ カ ル	115	121	+6	104.8%
フ ァ イ ン ケ ミ カ ル	29	24	▲5	83.7%
川 崎 化 成 工 業	37	41	+5	112.7%
計	181	186	+5	103.0%

医療関連事業



■ 売上高 386億円 (前年同期比103.7%)

- ・医療サービス（滅菌、SPD）での取引拡大
- ・グローバルワイド他の新規連結

■ 経常利益 9億円 (前年同期比96.1%)

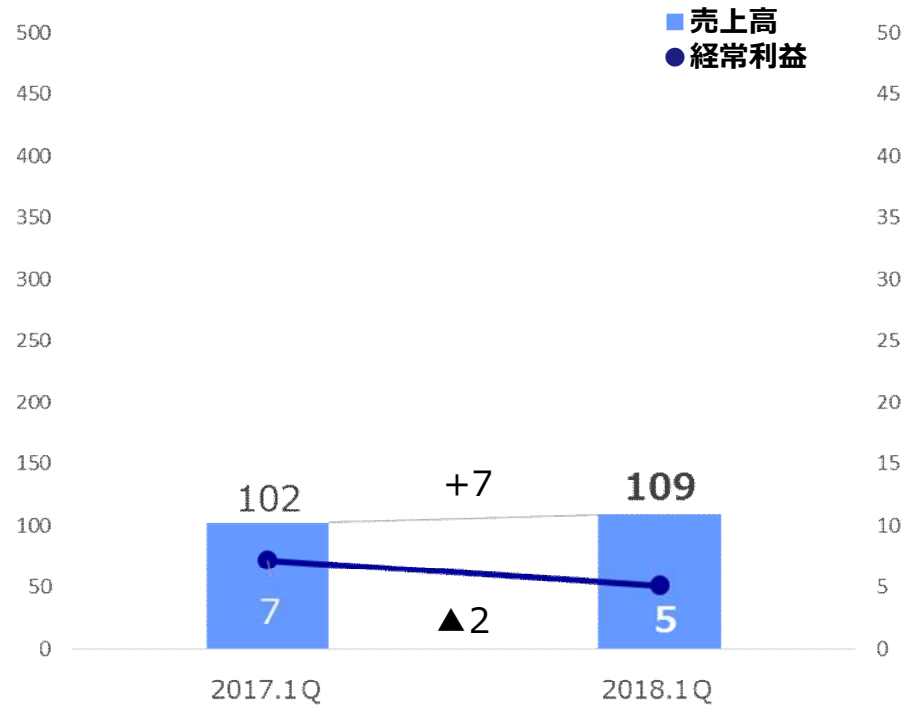
- ・注射針の海外販売体制の見直しによる受注減
- ・医療サービス（滅菌、SPD）での収益改善
- ・衛生材料においてコスト合理化が進展

■ サブセグメント別 売上高

(単位：億円)

	2017.1Q	2018.1Q	増減	前年同期比
医療ガス	22	21	▲1	95.4%
設備	52	47	▲4	92.0%
医療サービス	181	188	+7	104.1%
医療機器	10	13	+3	131.4%
在宅医療	23	23	+0	101.0%
衛生材料	57	58	+1	101.9%
その他	27	34	+7	125.9%
計	372	386	+14	103.7%

エネルギー関連事業



■ 売上高 109億円 (前年同期比106.5%)

- ・ C P 価格に連動して L P ガスの販売価格が上昇
- ・ 工業用 L P ガスの販売量が増加

■ 経常利益 5億円 (前年同期比71.3%)

- ・ 販売促進費、新規事業の立ち上げコストが増加

■ サブセグメント別 売上高

(単位：億円)

	2017.1Q	2018.1Q	増減	前年同期比
L P ガス	97	107	+10	109.9%
天然ガス関連ほか	5	2	▲3	40.5%
計	102	109	+7	106.5%

農業・食品関連事業



■ 売上高 348億円（前年同期比101.1%）

- ・農産において新規出店により青果小売分野の販売が増加
- ・ペットボトルコーヒーを中心に飲料の受託が拡大
- ・食品ソリューションにおいてスイーツの販売が不振

■ 経常利益 11億円（前年同期比87.6%）

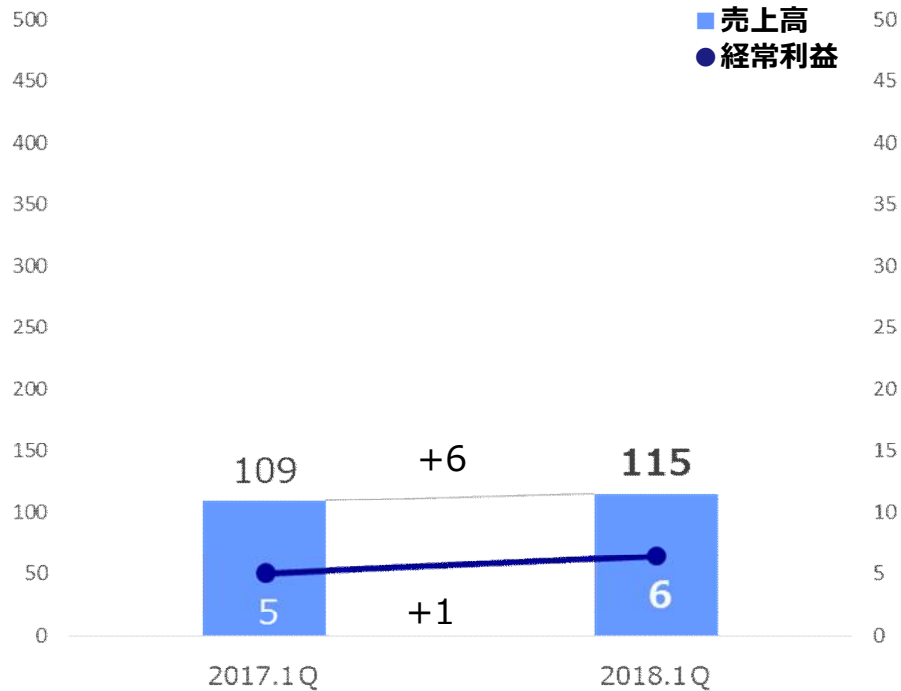
- ・農産において青果相場安が影響
- ・飲料において人件費、エネルギーコストが上昇

■サブセグメント別 売上高

（単位：億円）

	2017.1Q	2018.1Q	増減	前年同期比
農 産	101	106	+5	104.6%
食 品 ソ リ ュ ー シ ョ ン	110	105	▲5	95.7%
飲 料	133	137	+4	102.9%
計	344	348	+4	101.1%

物流関連事業



■ 売上高 115億円 (前年同期比105.5%)

- ・ 運送において北海道・本州間のシャーシ輸送の荷扱量が増加
- ・ 3 P Lにおいてコンビニチェーン向けの物流業務が増加
- ・ 車体においてトレーラー、特殊車両の製作が増加

■ 経常利益 6億円 (前年同期比109.5%)

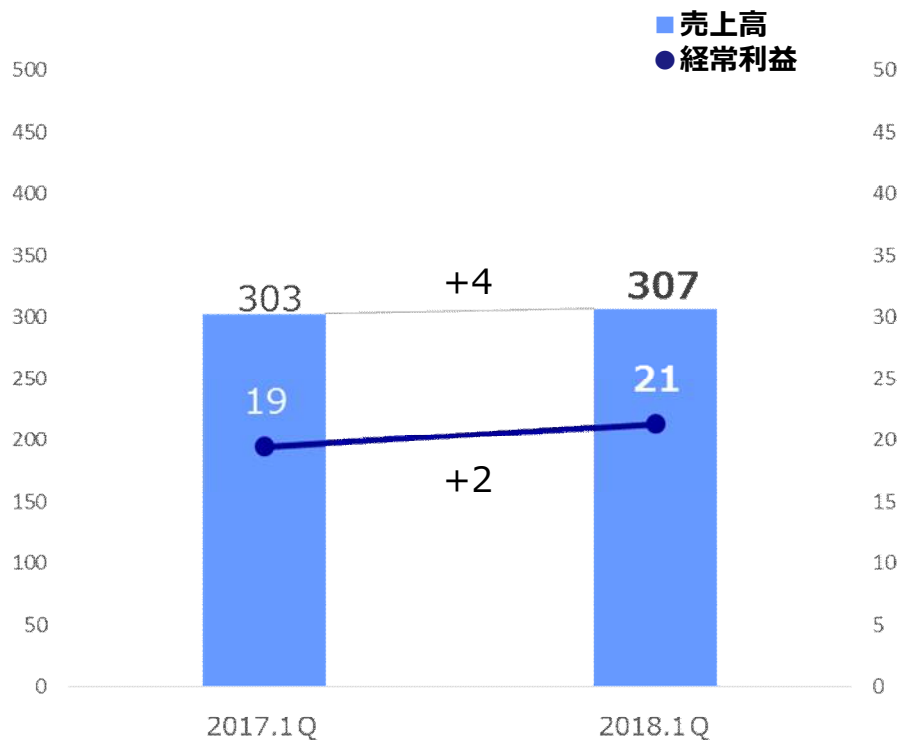
- ・ 人件費の上昇および軽油の値上り
- ・ 車両の耐用年数変更により減価償却費が減少
- ・ 3 P Lにおいて受託料金の適正化が進展

■ サブセグメント別 売上高

(単位：億円)

	2017.1Q	2018.1Q	増減	前年同期比
運送	47	50	+2	104.7%
3 P L	50	53	+3	105.9%
車体	12	13	+1	107.4%
計	109	115	+6	105.5%

その他の事業



■ 売上高 307億円（前年同期比101.2%）

- ・情報電子材料は自動車関連向けに販売が拡大
- ・化粧品などの人体用品を中心にエアゾールの受託が拡大
- ・日本海水において前年同期に水処理設備の大型案件の計上があったことによる反動減

■ 経常利益 21億円（前年同期比109.5%）

- ・タテホ化学においてヒーター用電融マグネシアの原料価格が高騰
- ・情報電子材料が堅調に推移
- ・リング、高機能フェノール樹脂の製造・販売、金属表面処理が好調に推移

■ サブセグメント別 売上高

（単位：億円）

	2017.1Q	2018.1Q	増減	前年同期比
日本海水	65	60	▲5	92.3%
タテホ化学	22	24	+2	109.0%
海水	87	84	▲3	96.5%
ゾール	50	55	+5	109.0%
情報電子材料	93	98	+5	105.2%
その他	73	70	▲3	96.4%
計	303	307	+4	101.2%

2018年度 第1四半期 貸借対照表

(単位：億円)

	2018年3月末	2018年6月末	増減	
			金額	前年比
流動資産	2,830	2,831	+1	100.0%
固定資産	4,101	4,197	+96	102.3%
資産	6,931	7,028	+97	101.4%
流動負債	2,232	2,298	+66	103.0%
固定負債	1,753	1,759	+7	100.4%
純資産	2,946	2,970	+24	100.8%
負債・純資産	6,931	7,028	+97	101.4%
自己資本	2,780	2,816		
有利子負債	2,032	2,180		
自己資本比率	40.1%	40.1%		
ネットD/Eレシオ	0.65	0.69		

補 足 資 料

（単位：億円）

		2017年度 （実績）	2018年度（予想）			増 減	
			通期	上期	下期	金 額	前年同期比
産業ガス関連	売上高	1,593	1,860	863	997	+268	116.8%
	経常利益	162	190	77	113	+28	117.5%
ケミカル関連	売上高	680	700	342	358	+20	103.0%
	経常利益	19	26	12	14	+7	140.2%
医療関連	売上高	1,709	1,830	809	1,021	+121	107.1%
	経常利益	103	116	34	82	+13	112.4%
エネルギー関連	売上高	515	570	220	350	+55	110.8%
	経常利益	39	42	8	34	+3	106.7%
農業・食品関連	売上高	1,337	1,450	712	738	+113	108.5%
	経常利益	49	53	30	23	+5	109.3%
物流関連	売上高	449	490	241	249	+41	109.1%
	経常利益	19	25	13	12	+6	132.4%
その他	売上高	1,253	1,300	613	687	+47	103.7%
	経常利益	82	84	36	48	+2	102.3%
（調整額）	経常利益	▲25	▲36	▲17	▲19	▲11	-
合 計	売上高	7,536	8,200	3,800	4,400	+664	108.8%
	経常利益	447	500	193	307	+53	111.9%

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

(単位：億円)

	2017 1Q	2018 1Q	増減	
	金額	金額	金額	前年同期比
酸素	63	72	+8	113.0%
窒素	72	72	▲1	99.3%
アルゴン	34	34	+1	102.2%
炭酸ガス	45	47	+3	105.7%
水素	12	13	+1	104.3%
ヘリウム	10	10	▲0	96.4%
その他ガス	43	48	+5	110.6%
産業ガス 計	280	296	+16	105.6%
LPガス	56	62	+5	109.5%
灯油	16	18	+2	109.3%

(単位：億円)

		2017.1Q	2018.1Q	前年同期比
北海道エア・ウォーター ※1	地域事業会社	119	131	109.7%
エア・ウォーター炭酸	産業ガス	32	33	103.4%
エア・ウォーター防災 (連結)	医療 (病院設備工事ほか)	45	40	88.7%
エア・ウォーター・メディエイチ	医療 (SPD・滅菌)	97	104	107.6%
春雪さぶーる (連結) ※2	農業・食品 (冷食・ハムデリカ)	81	76	93.8%
ゴールドパック	農業・食品 (飲料)	130	134	103.0%
九州屋	農業・食品 (青果販売)	63	69	109.1%

※1 2018.1Qには日江金属 (2018年度第1四半期より新規連結) の売上高を含む。

※2 プレシアホールディングス (2018年度に春雪さぶーると合併) の売上高を含む。